

ACP作業部会

2020年11月25日（水）

14：00～15：00

看取りに関するアンケート結果

①看取りの担当経験

	人数	%
はい	280	75%
いいえ	89	24%
不明	2	1%
合計	371	100%

②ACPの認知度

	人数	%
よく知っている	117	32%
聞いたことはある	169	46%
全く知らない	77	21%
不明	8	2%
合計	371	100%

③患者（利用者）と話し合っている内容（複数回答）

	人数	%
過去の医療・ケアに関する経験について	148	40%
現在の健康状態の不安や価値を置くところ	249	67%
今後の人生の目標	225	61%
判断できなくなった時に備えて	123	33%
いのちに対する考え方を探索する	132	36%
代弁者について	110	30%
今後、どのような治療や生活を望むか	277	75%
以上得た情報について、関係者と共有している	253	68%
実数合計	371	100%

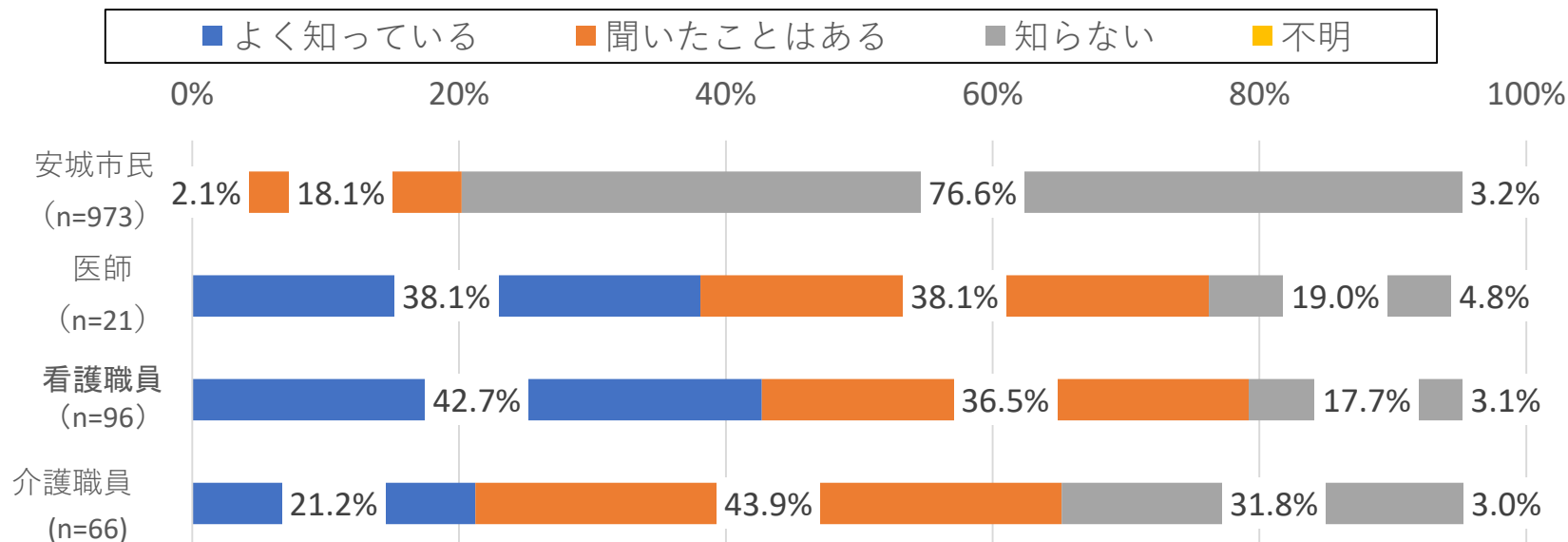
④難しいと感じること（複数回答）

	人数	%
話すタイミングがわからない	123	33%
関係者と共有するのが難しい	72	19%
相手を不安にさせるか心配	207	56%
時間的に難しい	88	24%
進め方や方法がわからない	64	17%
深刻な話題は苦手	48	13%
記録に残すことが難しい	50	13%
コミュニケーション力の不足	58	16%
その他	44	12%
実数合計	371	100%

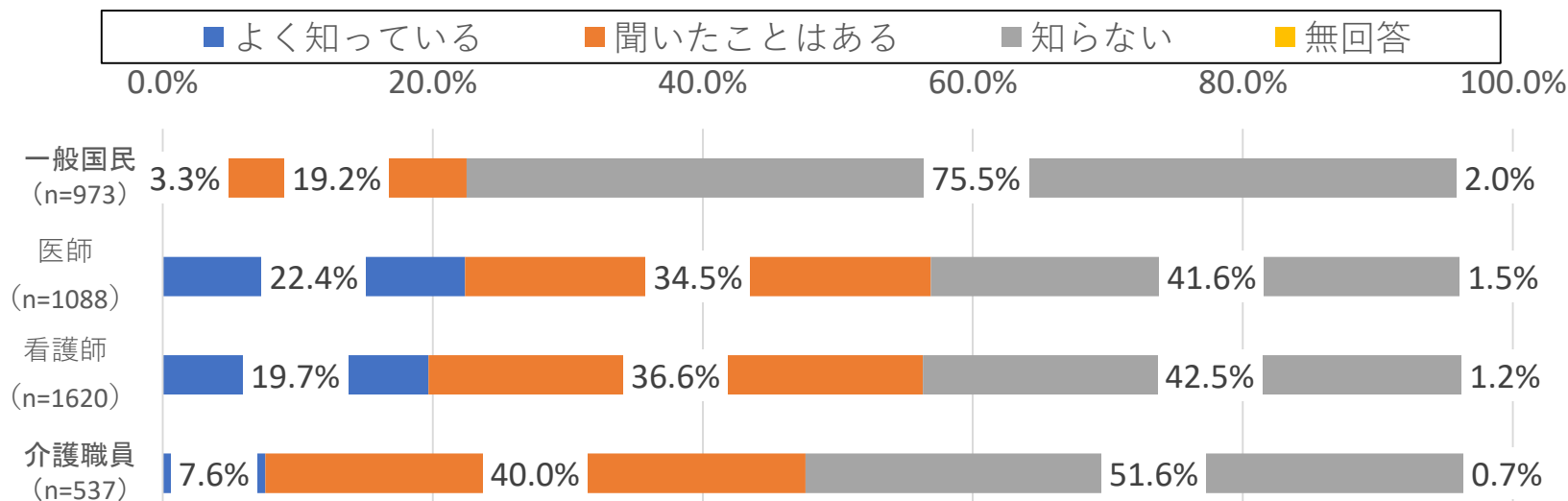
- ACPをよく知るのは約3割しかいないが、それ以上の方が意思決定のプロセスに関与している。ACPをよく知った上で、意思決定支援をしていく必要あり。
- 話すタイミングや相手を不安にさせないことが難しい。

ACP：アドバンス・ケア・プランニングの認知について

安城市高齢者等実態把握調査（2019）および本アンケート調査（2020）



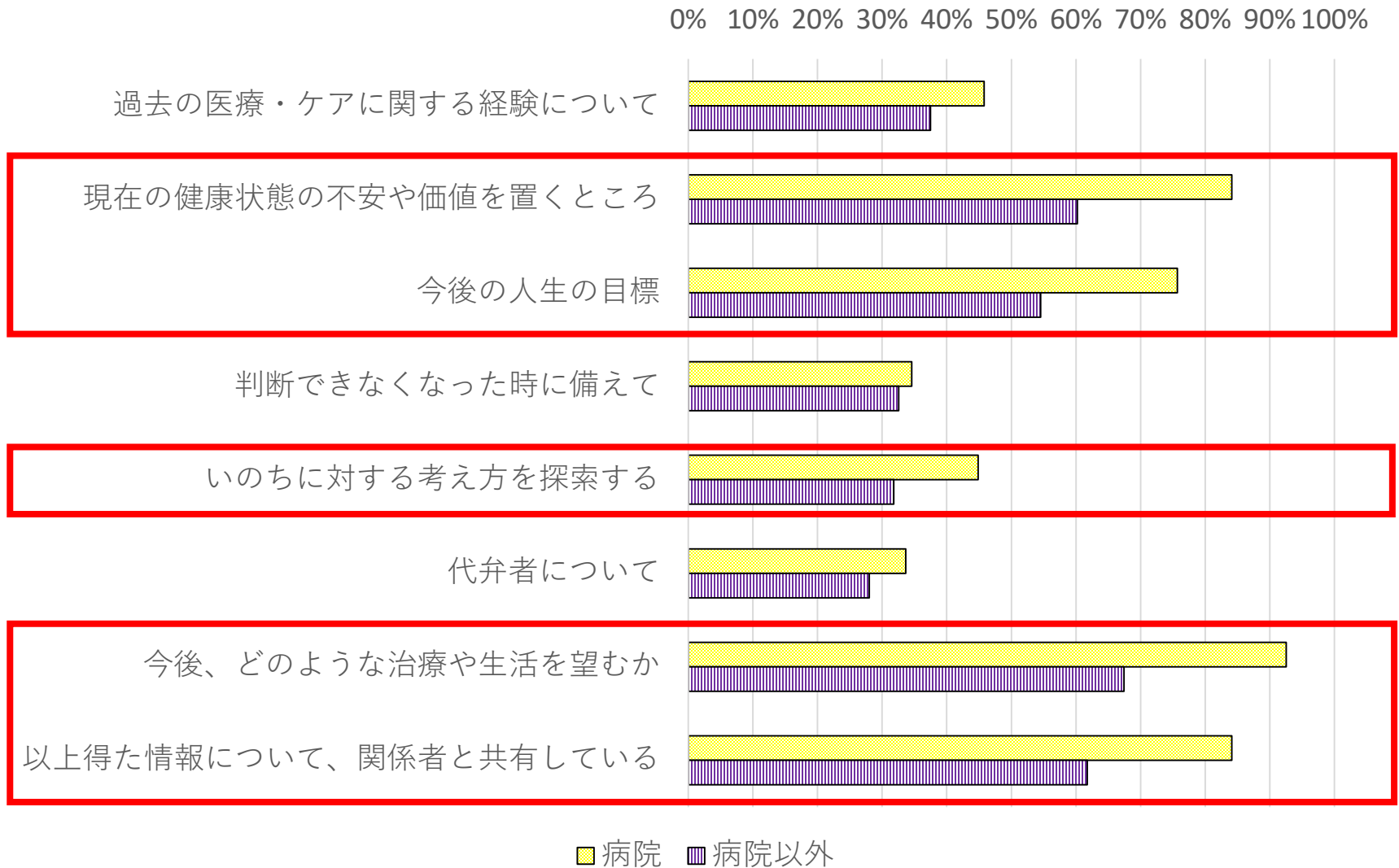
人生の最終段階における医療に関する意識調査（2018年,厚労省）



ACPの対話における重要な要素

- 主要な要素は、
 - 「**価値観**」と「**意向（治療選好）**」
- どのような治療を望むかの前に、前提となる本人の価値観を確認することが重要。
 - この情報は在宅の方が情報を持っているはず。
- この価値観を探索するために、過去の医療・ケアに関する経験や現在の健康状態についての不安や価値を置くところ、今後の人生の目標について、を話し合うことが必要。

患者（利用者）と話し合っている内容（比較）



- 病院の方が多く話し合っている内容が複数ある。
- 病院側と在宅側でそれぞれ聴き取った内容を、どうやって情報共有するか？ 5

看取りに関する検討について

- 地域ケア推進会議にて「看取り」に焦点を当てて話し合ったが、現状の認識や捉え方、目標がバラバラで統一した方向性が出せなかった。
 - 共通の目標として、目指す姿について検討し、「本人が望む場所で、自分らしく最期まで今を生きる」と決定。
- 各部会を含めた一体的な取り組みを進めるため、実際の事例を検討し、課題などの意見を頂いた。
 - 看取り検討部会を発足し、「安城市看取り体制支援プラン（仮）」（別紙参照）を作成。

ACP作業部会のミッション

◆これまでの現状を踏まえて、**ACP**作業部会では安城市全体で**ACP**を普及・啓発・推進するため、どんなことに取り組むべきだと思いますか？

- 自分の考える**ACP**とは？
- **ACP**について感じていること、やりたいこと
- 現場で必要だと思うこと

➤何でも良いので、お話しください。

他地域の啓発等の取り組み

- 千葉県柏市
 - 支援者向けガイドライン、わたしの望みノート等
- 宮崎県宮崎市
 - わたしの想いをつなぐノート（+書き方手引き）
- 豊田市
 - 専門職向けのポイント集、わたしのノート
- 岡山県津山市
 - **ACP**ガイドブック
- 広島県江田島市
 - 人生会議ノート（**ACP**編、エンディングノート編）